

病床機能再編支援事業に係る単独病床機能再編計画

1 概要

医療機関名	八幡病院
所在地	岐阜県郡上市八幡町桜町 2 7 8 番地
診療科目	内科、消化器科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科、循環器科、小児科

2 令和 2 年 4 月 1 日時点の状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床数		44		27		71
稼働病床数 (A)		38		27		65

【参考：病床機能報告における病床数】

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
平成 3 0 年度 病床機能報告	許可病床数		44		27		71
	稼働病床数		38		27		65
令和元年度 病床機能報告	許可病床数		44		27		71
	稼働病床数		33		24		57

3 再編途中の状況

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
令和 4 年 1 0 月	許可病床数		40		20		60
	稼働病床数		38		20		58

4 再編後の許可病床数

再編予定日

令和 5 年 4 月

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床数 (B)		38		0		38
削減病床数 (B) - (A)	0	0	0	▲ 27	0	▲ 27

5 病床再編の必要性等について

【再編を検討した経緯】

病床機能再編、地域医療機関との機能分担・連携を模索しており、昨年度、個別経営コンサルティングによる提案をいただきました。医療提供を継続するための経営改善を進めたい。

【削減病床数の考え方】

医療ニーズに合わせた病床数を見直し、稼働率が低い病棟や病床の多床室のベッド数を中心に削減する。

【その他】

■支給申請額算定シート

1	再編前の稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※3)の合計
	① 平成30年度病床機能報告		38		27		65	65
	② 令和2年4月1日時点(※1)		38		27		65	65
	③ 再編前病床数=②(※2)	0	38	0	27	0	65	65

- ※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。
令和2年4月1日時点で病床数の変化があった場合は、変更前の病床数を記載すること。
平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。
- ※2 ①平成30年度病床機能報告時又は②令和2年4月1日時点の対象3区分合計のいずれか少ない方を基準とする。
- ※3 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	再編後の許可病床数 (=再編後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
			38			0	0	38

3	他の医療機関との病床融通数 (※4)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
	うち同一開設者の医療機関との病床融通数					0
						(0)

- ※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の医療機関から病床の融通を受けた場合はマイナス表記、病床を融通した場合はプラス表記とすること。
また、「(参考) 病床融通に関する概要」シートに関連する医療機関の病床数を記載すること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計
		0		0

5	減少病床数 (1の③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
		0	0	0	27	0	27	27

6	過去に 令和2年度病床機能再編支援補助金 及び本事業で支給済の病床数	支給済病床数	5.減少数	4.うち転換数	6.支給済数	3.うち他院への 融通数	支給対象
				27	0	0	(0)

7	再編前の許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
	① 平成30年度病床機能報告		44		27		71	71
	② 令和2年4月1日時点(※5)		44		27		71	71

- ※5 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。

8	対象3区分の病棟の 年間在棟患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	慢性期	合計
	① 平成30年度病床機能報告(※6)		10,481	8,778	19,259
	② 令和2年4月1日時点(※7)		10,456	8,016	18,472

- ※6 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数 = 年間在棟患者延べ数(48)欄に記載された数値 ÷ 報告可能な対象期間(月単位) × 12

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位) = 6

- ※7 7の①と7の②の値が同じ場合は8の②の入力は不要。

9	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用
	A 平成30年度病床機能報告	74.3%	52	
	B 令和2年4月1日時点	71.2%	50	

10	再編前の対象3区分の稼働病床数 から一日平均実働病床数までの減少 分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
		1,824	13	23,712

11	一日平均実働病床数から再編後の 対象3区分の許可病床数までの減少 分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
		2,280	14	31,920

要件 審査	90%減少チェック	○
----------	-----------	---

12	支給申請額(千円)	55,632
----	-----------	--------